

『これからの5年を考える』

妻ヶ丘地区社会福祉協議会 会長 湊上 澄雄

妻ヶ丘地区も少子高齢化の波が、他地区同様増加している傾向にあり、「普通の暮らしができるしあわせ」を求めてより一層具現化に向けて取り組むことが求められています。その要は地区社協であり責任の重大さを感じているところです。

これからの5年間、実現できる施策を小さな事でも取り組み自治公民館等他団体の協力を得て実践し、「福祉のまち妻ヶ丘」を目指したいです。

妻ヶ丘地区社協 これからも続けていきたい活動

在宅介護者のつどい

毎年、在宅で介護されているご家族に対して、リフレッシュや介護者同士の交流を行うために開催しています。

在宅介護者を支えていくために、事業の周知や気軽に相談し合える環境をつくることが重要になっています。



男性料理教室

食の自立を目的に各公民館にて、男性料理教室を毎年行っています。健康的な生活を送るために地域で支え合う大事さを感じる機会にもなります。

今後は、男性だけでなくいろいろな人が地域で生活していくために内容や対象者を広げます。



子育てサロンにじ

毎月第3水曜日に、地域の子育て支援を目的に、未就学児のいる親子の遊び場づくりとして開催しています。

参加者への広報活動や内容の充実を行い、地域の現状に応じた活動を目指します。



福祉総合研修会

地区社協の構成員である、民生委員児童委員、公民館長、高齢者クラブ、食改善推進員等が一堂に会して、年に1回、地域福祉について学び合い、つながりをつくります。

今後の連携にむけて、日頃からの定期的な話合いの場が不可欠になります。



15地区地域福祉活動計画 妻ヶ丘地区社会福祉協議会

妻ヶ丘地区スローガン

やってみよう! 育てよう!
集いつながる つまがおか

【基礎情報】(R2. 5. 1)

人口規模 (住基人口)	全 体	19,461 人	世帯数	8,932 世帯
	男 性	9,006 人	自治公民館加入世帯	4,886 世帯
	女 性	10,459 人	自治公民館加入率	54.7%

【妻ヶ丘地区の現状・課題】計画策定作業と「地域福祉に関するアンケート調査」結果より

- 民生委員と公民館長との連携が必要
- 公民館未加入世帯の減少と関り
- 公民館活動が社会的弱者救済への取り組みがあまりない
- 民生委員の欠員が8名。民生委員の活動が理解されていない
- 高齢者クラブの高齢化と加入者数の減少
- いきいきサロン事業の在り方の検討が必要
- 団地の貧困世帯の問題や団地入居者の減少（2割減）
- ゴミ出しのルールが守られていない
- 若い世代の助け合いの経験があまりない。若い世代の地域への愛着が薄い
- 地域共生社会への意識が欠如（他人事を自分事に置き換えることができない）
- 単身高齢者の増加
- 男性の集う場所がない
- 地域での助け合いの必要性が理解されない
- 第2層生活支援コーディネーターの役割など、それぞれの活動に対する理解不足
- 地域で子育ての環境が薄れている。子育てサロンにじの運営検討
- 人手不足のため、(子どもから大人まで)すべての住民に余裕がなくなっている
- 行政の人事異動による事業の停滞や後退
- コロナ禍での課題。コロナを理由に活動が減少する。活気がなくなった
- 地区社協専用拠点がない。地区社協の資金の確保
- 世間的には相談窓口は多くなっているが、地区社協の実際の相談は少ない
- 相談を受けるが何もできず回答ができない。情報源がない。毎年相談員が変わるので、相談員の研修が必要

妻ヶ丘地区地域福祉活動計画

(計画実施期間・令和3年度～令和7年度)

計画スローガン (大項目)

やってみよう！ 育てよう！ 集いつながる つまがおか

中項目	小項目	具体的な取り組み内容
1 小地域（自治公民館単位）での福祉活動の充実と関係機関団体との連携協働できる地域づくりを目指します (地域づくり)	1-①これまで取り組んできた事業をさらに充実させていきます	継続)・在宅介護者の集いの開催 (R3～) 新規)・単身男性高齢者の買い物や献立など生活に役立つ講座 (検討)
	1-②公民館活動の支援を強化し、地域課題に応じたいきいきサロン研修などを行います	新規)・公民館単位での座談会や研修会の開催 (R3～) 新規)・小地域活動 (ミニサロン等の定期開催など) の充実 (R3～)
	1-③新しい取り組みに対して、助成し活動を支援します	新規)・課題に応じた新たな取り組みへの活動準備資金等の助成 (R3～) 新規)・クリーン作戦を地域活動へつなげる (検討)
	1-④関係団体等との研修会を行い、連携を深めます	継続)・福祉総合研修会の開催 (年1回) (R3～) 継続)・生活おたすけサービス事業研修会 (R3～) 継続)・先進地視察研修会の実施 (R3～)
2 多世代のボランティア育成のため事業を充実していきます (人づくり・つながりづくり)	2-①世代間交流や伝承活動	新規)・「ふるさと味めぐり」の開催 (R3～)
	2-②子育てサロンにじの活動を充実させます	新規)・ボランティアの人材調査と育成 (地域の専門職 OB などの活用) (検討) 新規)・子育て支援のニーズ調査 (R3～)
	2-③民生委員児童委員活動の支援を行います	新規)・公民館役員 (福祉部長等) が民生委員を就任する仕組み
3 様々な関係機関・団体が協議できる場づくりに取り組みます (協議の場づくり)	3-①地区内の関係機関・団体等の連携を図ります	新規)・地区内関係機関団体意見交換会の実施 (R3～年1回)
	3-②事業の見直し委員会を行います	新規)・事業の見直し検討会 (検討)
	3-③生活支援コーディネーター等との生活課題についての協議の場をつくります	新規)・生活支援連絡会 (R3～)
4 地域住民の困りごとに対応できる組織体制づくりを目指します (しくみ・体制づくり)	4-①事務局体制を充実強化していきます	新規)・事務局長・事務局員の2名体制の導入 (R5～) 新規)・開設日や拠点の増設 (R3～)
	4-②広報PR活動を強化します	継続)・広報紙の発行 (R3～) 新規)・事務局開設チラシの作成 (R3～) 継続)・公民館館報に地区社協の情報を掲載する (R3～)